

文書名	平成 30 年度 DAN 運営委員会 議事録		
開催日	平成 30 年 10 月 12 日（金）	開催場所	東京オフィス L2 会議室
時間	15：00～17：15	議事録作成完了日	平成 31 年 1 月 11 日
出席者	【委員】 鈴木委員長、山見委員、後藤委員、和泉委員、才木委員、重江委員、宮下委員、 芝山委員、吉田委員、小島委員、柳下委員（順不同） 【代理出席】 一本木委員（井上様） 【海上保安庁】 警備救難部救難課 専門官 田中様 【協会関係者】 佐久間（理事長）、平田（常務理事）、日高（審議役） 安全事業部／川口（部長）、小島（課長代理）、白石		

1. 平成 30 年度の現状及び活動状況について事務局から説明を行い、質疑応答が行われた。

●DAN の現状など

- ・平成 30 年 8 月から DDNET 登録医師の情報交換の場として、メーリングリストの運用を開始した。

●情報提供について

- ・平成 30 年 7 月から DAN ブログ及び Facebook ページを開設し、安全情報提供を開始した。 会員のみならずダイバーへの安全意識の向上に努めている。

●学割・団体プログラムについて

- ・平成 30 年 1 月から大学生等を対象にした入会金免除プログラムを開始した。 また、レジャーダイビングを組織的に行っている団体にも同様のプログラムを適用し、ダイビングの安全性向上に貢献している。

2. IDAN 関連報告について事務局から説明を行った。

- ・平成 30 年 9 月 28・29 日、南アフリカ共和国ダーバンにおいて IDAN 会議が開催され、DAN JAPAN もこれに参加し、情報交換を行った。
- ・平成 31 年度は IDAN 会議の日本開催が議決された。

3. メディカルチェックガイドラインの一部修正について事務局から説明を行い、質疑応答が行われた。

【一部修正に至る経緯について】

- ・メディカルチェックガイドライン（以下「ガイドライン」）は、平成 29 年度の運営委員会で検討事項にあがったものである。平成 15 年（2003 年）発行の日本高気圧環境・潜水医学会誌掲載資料をベースに、DAN JAPAN、社会スポーツセンターからガイドラインが発表されているが、一部内容が異なっている点がある。このため、日本高気圧環境・潜水医学会誌に掲載された内容を基本とし、インストラクター向けガイドラインの一部を修正すべく、記載内容について関係委員と調整を図った。本委員会の報告を経て、DAN JAPAN ホームページに掲載する。

【ガイドラインのあり方について】

- ・ガイドラインが、より現場で使用できるものとするために、内容改訂への取り組みが必要である。
- ・ガイドラインを修正する際には、医療従事者やダイビング関係者にも議論に参加していただき、現場でガイドラインが使用されることを前提に検討することが望ましい。